

校長室だより

第15号 令和6年7月19日

江戸川区立瑞江小学校長

牧岡 優美子



水難防止の着衣水泳

水難事故防止の学習として毎年、水泳指導の最終週に5年生が「着衣水泳」を行っています。もしも、水難事故にあってしまった時には、パニックにならず救助を待てるように、入水時の服の重さを体験します。服は身に着けていた方が空気をふくんで浮きやすくなり、靴は足の怪我を防ぐ役割があります。呼吸しながら救助まで20分間を想定し、ゆっくり浮いたり泳いだりします。服の重さ、泳ぎにくさを実感した子どもたちは「重かった」「疲れたあ」と言っていました。



プール納めの会

今年度の水泳指導は、今週で終わりです。事故なく、各学年の授業が終わりました。プール納めの会では、代表児童の6年生が小学校生活最後の水泳学習を振り返って発表しました。

夏休みの水泳指導もありますが、熱中症警戒アラート発令や暑さ指数が危険な場合には、中止のお知らせをtetoruで流します。



奈良の大仏の大きさは



様な「白毫（びやくごう）」もきちんと描いていました。ネットで調べるだけでなく、実感するのも大切な学習です。

6年生が社会科で、奈良の大仏の大きさを実感するため、校庭に描いた大仏アート。先生たちが書き始めた実物サイズの姿に、子どもたちが付け足していき、立派な顔になりました。頭にあるブツブツの「螺髪（らほつ）」や、額の中央にある白い毛が丸まったホクロの



1学期間ありがとうございました。熱中症に十分注意してよい夏をお過ごしください。